科　目　名	必修／選択	単位数	学　年	学科
物　理	選択	２	２	普通科

科目の概要	「物理」は、自然界で起こる出来事の背後にある基本法則や原理といった根本的な部分について学んでいく学問です。特に、理学・工学・医療の分野においては、高校で習う物理の基礎知識や考え方がベースなっています。「なぜ」「どうして」という気持ちを大切にしながら、物理を学んでいきましょう。 ２年次では、１年で学習した物理基礎の内容を加えて、力学分野、波動分野について扱っていきます。ICTを活用し知識の確認や学習達成状況の把握など自己を見つめつつ、応用力・思考力を身につけていきます。			
教材名	教科書	総合物理（数研出版）		
	副教材	2024実践アクセス総合物理　（浜島書店）		
担当者		木村宣幸　山口諒太		
学習到達目標		物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と主体的に取り組む態度を身につけるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。		
学習方法		①物理現象について、「定義（現象を端的に表現）」、「定義に基づいた式（公式）」、現象を表現した数値に意味もたせる「単位」について、正確に理解する。 ②図を描いて、条件や設定を整理しイメージしていく。 ③定義や公式をもとに、条件を変えて繰り返し問題を解く。 ④わからないことは質問する。グループワークの中でお互いに教え合う。		
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	自然の事物･現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。 単元テスト・期末考査（知識）	自然の事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。 単元テスト・期末考査（思考・表現）、実験（ﾚﾎﾟｰﾄ含む）、課題の提出	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようと自ら学習状況を把握し、計画的に学習を進めていく態度を身に付けている。 課題の提出・取組状況、実験（ﾚﾎﾟｰﾄ含む）、授業の取り組み
	A	物理現象について、定義や公式の意味を十分に理解し、条件や設定に応じて説明や計算ができる。	さまざまな物理現象について、グラフや各物理量の関係、計算結果等を考察し、条件の変化に応じて、判断したり、予測したり、表現することができる。	各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり（計画性），学びを振り返ったりする（状況把握）など、自らの考えを調整しながら理解しようとする。
	B	物理現象について、定義や公式の意味をおおむね理解し、基本的な説明や計算ができる。	基本的な物理現象について、グラフや各物理量の関係、計算結果等から判断したり、予測したり、表現することができる。	各項目の学習において、学びを振り返り、自らの考えを調整しながら理解しようとする。
	C	物理現象について、定義や公式の理解が不十分で、説明や計算ができない。	基本的な物理現象について、グラフや各物理量の関係、計算結果等から判断したり、予測したり、表現することができない。	各項目の学習には取り組むが、自らの学びを振り返ろうとしない。

科目名［　物理　］

年　間　学　習　計　画

月	章　・　単元	学習内容・目標等	時数	テスト
4	第1編　力と運動	1　家庭学習		単元テスト⓪ 基礎
	第1章　運動の表し方	2024実践アクセスの取り組み状況を決められた		アクセス 1,2
	3．落体の運動	日までに提出	5	
5		下記のA～Fより各自で選択する		単元テスト①
		提出回数は１１回		教科書 第1編 1章3
	第2章　運動の法則	（単元テスト後９回、期末テスト後２回）		アクセス 12
	5．液体や気体から	提出内容（学習日、理解度、今後の目標）	8	
	受ける力	A 「物理基礎」の実践アクセスの例題「必須」		単元テスト②
		B 「物理基礎」のAccess2基本問題　「任意」		教科書 2章5.6
6	6．剛体にはたらく力の	C 「物理基礎」のAccess3応用問題　「任意」		アクセス 3,4,13
	つりあい	D 「物理」の実践アクセスの例題　「必須」		
		E 「物理」のAccess2基本問題　「任意」		単元テスト③
	第4章　運動量の保存	F 「物理」のAccess3応用問題　「任意」	8	教科書 4章
7	1．運動量と力積			アクセス 5,14
		2　実験		
	2．運動量保存則	・剛体のつり合い		単元テスト④
		・運動量保存　反発係数の測定		教科書 5章1.2
	3．反発係数	・単振り子		アクセス 15
8		・屈折率の測定		
		・光の分散・散乱・偏向		前期期末考査
	第5章　円運動と万有引力	・レンズの焦点距離測定	12	教科書
	1．等速円運動	・CD・DVDのピッチの測定		第1編　第1章～第5章
		レポートより実験手法の適切さ・データ正確さ		基礎の範囲を含む
	2．慣性力	自己評価、相互評価等により点数化する。		アクセス
9				第1章 1～ 5
	3．単振動	3．学習内容の言語化		第3章12～16
		教科書の「学んだことを説明してみよう」を		総合問題
		文書にて提出・プレゼンの実施		
	第3編　波			
10	第1章　波の性質	4．スタディーサプリの活用		単元テスト⑤
	2．正弦波の式	・欠席生徒へのフォロー	6	教科書 第3編 1章
		・単元毎に知識の定着が遅れている生徒への		アクセス 7,20
	3．波の伝わり方	フォロー		
				単元テスト⑥
				教科書 第3編 2章
	第2章　音			アクセス 8,21
11	1．音の伝わり方		7	
				単元テスト⑦
	3．音のドップラー			教科書 第3編 3章
	効果			アクセス 22,23
	第3章　光			後期期末考査
12	1．光の性質		16	教科書
				第1編 第5章3 単振動
	2．レンズと鏡			第3編 第1章～第3章
1				アクセス
	3．光の干渉と回折			第2章 7
2				第3章 16
				第4章 20～23
3	第5章　円運動と万有引力			総合問題
	第1編　力と運動		8	
	4．万有引力			